新時代「令和」ずっと住みたい群馬切り拓（ひら）きます。

群馬県 自民党政策集

自民党群馬県連の誓い

新元号「令和」の時代は5月1日、幕を開けました。新しい時代を迎えるにあたり、すがすがしい緊張感とともに、これからも「ずっと住みたい群馬」を実現するために、全力を尽くすことをお誓い申し上げます。

県内を見渡したとき、来春に控えた「八ッ場ダム」や「Gメッセ群馬」の完成、高速交通網を生かすための「7つの交通軸」の整備が進み、企業立地件数も急増しております。

県民生活に目を転じれば、県民所得が伸び、実質経済成長率も全国平均を上回っています。

私たち自民党群馬県連も、国、県、市町村の議員が力を合わせ、この勢いをさらに加速させてまいります。そのためにも、県民の声をしっかりお聞きし、群馬の発展に向けた適切な施策が提案できるよう、たゆまず努力を続けてまいります。

自由民主党
群馬県支部連合会

〒371-0026
群馬県前橋市大手町一丁目13番14号
電 話：027-223-1515　FAX:027-221-4721
URL：http://www.jimin-gunma.jp/

幸せのかたち いろいろ

群馬で生まれ、群馬に生きる。

群大病院の特定機能病院・再承認

県連が「医療の砦」守る

厚生労働省は４月１日、群馬大学医学部附属病院を高度な医療を提供する特定機能病院に再承認しました。2015 年６月に取り消されてから４年。群大附属病院が県民の医療を担い、県民の安心安全の“最後の砦”であることから、自民党県連は県や県医師会などと協力しながら再承認に向けた活動を展開しました。

腹腔鏡手術の死亡例が相次いだ問題について、群大附属病院は院内の死亡事例をすべて安全管理部門に報告し、再発防止策を進めてきました。再承認の申請は昨年５月に行い、社会保障審議会が厚生労働省に再承認を答申しました。

県内に特定機能病院のない状態が解消され、医師の養成・確保や高度医療の提供など、群大附属病院の今後の役割に大きな期待がかかっています。

医療サービスの均衡も！

自民党県連所属の県議会議員は、医師不足が進む状況を憂慮、県内各地の医療サービスの低下を防ぐため医師確保などの活動にも取り組んでいます。

緊急／災害時の拠点病院

前橋日赤が移転充実

緊急の治療や災害時の拠点病院の役割を担う前橋赤十字病院は昨年６月１日、開業以来 100 年余り所在した前橋市朝日町から３㌔離れた前橋市朝倉町で開院しました＝**写真上**。

新病院は地上７階建て。病床数は 555。集中治療室（ＩＣＵ）を含めた重症患者向けのベッド数は従来の 36 床から 72 床に倍増され、緊急の治療と災害時の機能の強化を図っています。また、がんの放射線治療装置「サイバーナイフ」も県内で初めて導入しました。

今後も、高度救命救急センター、ドクターヘリの基地病院として、県内全域を対象に高度な医療を提供していきます。

「7つの交通軸」は発展の礎

令和をより豊かに！

7つの交通軸とは?

県央軸	国道17号、県道高崎渋川線	吾妻軸	上信自動車道
東毛軸	国道50号、国道354号（東毛広域幹線道路）	三国軸	国道17号
西毛軸	国道18号、国道254号、国道299号、国道462号、西毛広域幹線道路、県道前橋長瀞線	尾瀬軸	国道120号
		渡良瀬軸	国道122号、渡良瀬幹線道路、県道桐生伊勢崎線

※ほかに各地区の鉄道を含めて構成。

関越、上信越、北関東の高速道路が県央部で接続する群馬県は、内陸の交通の要衝です。充実した高速交通網の“恵み”を県民の誰もが享受できるよう、自民党の県議団は県内各地域を結ぶ「７つの交通軸」整備を応援しています。

既にＪＲ高崎駅と板倉町を結ぶ東毛広域幹線道路 58.61 ㌔は完成、東毛軸の中核道路となっています。県央軸を支える国道 17 号や上武道路（埼玉県境～前橋市田口町 35 ㌔）の整備も進めています。７つの交通軸の整備は、令和９年までに終えます。

■　■

道路の整備は移動時間を大きく短縮します。生活のもっとも重要な基盤であり、県民生活の向上ばかりでなく、産業の発展、観光の振興など波及効果はさまざまな場面に広がっています。

たとえば、整備を終えた東毛広域幹線道路の沿線「太田・館林」「前橋・伊勢崎」の両地区は特に企業の進出が目立ちます。本県の工場立地件数は、平成 20 年から 29 年で 739 件、全国３位となっています。

企業の県内進出は県民の雇用関係の改善ももたらしています。７つの交通軸を「主軸」に、大規模バイパスの新設や４車線化を進め、高速道路のインターチェンジと主軸を結ぶ強化路線も整備します。

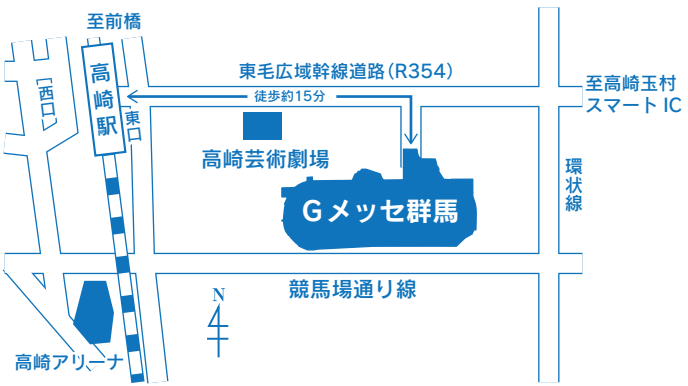
群馬のシンボルにな〜れ！

コンベンション施設 建設進む「Gメッセ群馬」

ＪＲ高崎駅東口から徒歩 15 分、「Gメッセ群馬」建設の槌音が響いてきます。来年春の完成を目指し、屋内・屋外の広い展示場と大小の会議室を備えます。各種イベントを開ける複合型コンベンション施設として、群馬に多様な「人・モノ・情報」を呼び込む交流拠点となります。

高崎駅は新幹線の拠点。東京から１時間圏内で、新潟、金沢を結ぶ交通の要衝です。国際会議、全国規模の学会、企業の展示会・見本市から県内の皆さんが企画する小規模な“集い”にも対応できます。

この種の県内施設は手薄感がありました。Gメッセ群馬は立地の良さと充実した施設を両輪に令和のふるさと発展の核として、県連も建設を後押ししてきました。



写真説明：来年3月の完成を目指して建設が進むGメッセ群馬＝群馬県のホームページから

施設概要　上越、北陸両新幹線の乗り入れるJR高崎駅から近く、同駅東口を基点に板倉町に至る東毛広域幹線道路も全線開通しています。

好立地に加え、地上4階建ての施設にはメインホール（1330㎡）、大会議室（650㎡）、中会議室（300㎡）4部屋、小会議室（75〜85㎡）4部屋を備え、大小のイベントに対応できます。

駐車場は乗用車約2，000台、大型車約50台分を用意しています。

来年3月完成へ 八ッ場ダム

67年 県政の課題成就

計画発表から 67 年の歳月を経て、八ッ場ダムは来年３月の完成に向けて総仕上げに入りました。本体のコンクリート打設が６月 12 日に完了、記念式典**（写真下）**に国や県、地元、下流都県の関係者 230 人が集まり、節目を祝いました。秋からは試験湛水（たんすい）が始まります。

八ッ場ダムは吾妻川上流の長野原町に設

けられ、県内の利根川水系では唯一、ダムのないエリアでした。矢木沢を含む利根郡のダム群や多野郡の下久保など、県内の治水を担うダム・ネットワークの完成としての意義もあります。

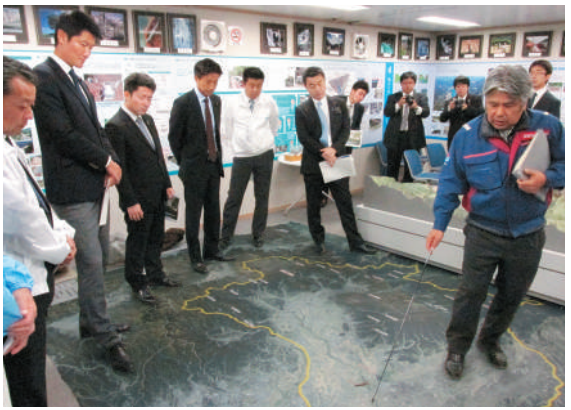
戦後の県政の最大の課題がいよいよ成就する日が近づいています。

膨らむ「観光」への期待

建設現場には全国から多くの人が見学に訪れています。八ッ場ダムへの関心の高さがうかがえ、地元では完成後のダム湖を生かした生活再建事業も進んでいます。

水没５地区には、アウトドアレジャー施設、屋内運動場、農林産物の加工施設、ダム湖を臨む水辺公園などを整備しています。湖面では観光船や県内初の水陸両用バスの運用やカヌー、カヤックの利用も検討され、湖畔には１万本を超すサクラの植樹も進められています。

八ッ場ダムは名湯・草津へのアプローチ途上にあたり、全国のダムの中でも希有な立地となります。遠来の観光客が立ち寄れる期待も膨らみます。県連は今後も、地域の発展を全力で応援します。



生活再建を重視して建設支援

自民党県連青年部・局は昨年 11 月、関東ブロック会議に参加した党本部青年部の国会議員らと八ッ場ダムを視察**（写真上）**、大プロジェクトへの理解を求めました。県連は水没地域住民の生活再建を重視しつつ、建設を支援してきました。

自民党群馬県連●政策バンク

■総務企画部会■
- 人口減少対策の施策を引き続き推進。
- 18歳選挙権への対応、若者の政治参加の促進。
- 東京オリンピック・パラリンピックを応援。
- 郷土強靭化を総合的、計画的に推進。
- 自主防災組織の組織率の向上を支援。
- 群馬外国人総合相談センターの活用・推進。
- 「東京一極集中の是正」と地方創生。
- 防災ヘリの早急な配備及び安全運行。
- 県内鉄道網の整備と利活用。

■厚生文化部会■
- 2028年国体に向けた施設整備、指導者育成。
- 多様性のある社会の構築。
- ぐんま稜線トレイルの活用と安全対策。
- 「温泉文化」のユネスコ世界遺産への登録推進。
- 子どもの貧困対策及び居場所づくり。
- 放課後児童クラブの拡充拡張。
- 子どもを産んで育てる環境を整備。
- 保育士育成のための施策を充実。
- 健康増進と生涯スポーツの振興。
- 地域包括ケアシステム構築の支援策を充実。
- 高齢者が生きがいを持てる社会づくり。

■農林環境部会■
- 県産木材の利用促進を図り、林業を振興。
- 群馬の木で家づくりを引き続き支援。
- 森林県ぐんま、電源・水源ぐんまの施策を強化。
- 先端技術を活用した「スマート農業」を促進。
- 農畜産物などの輸出促進。
- 農畜産物のブランド化の推進と地産地消。
- 野生鳥獣被害の軽減対策を推進。
- 農業、林業の担い手対策。

■産経土木部会■
- 企業団地の造成、雇用環境の整備。
- 群馬の製造業のさらなる発展。
- 防災減災のための防災インフラの整備。
- 暮らしに欠かせない公共交通網の整備。
- 上越新幹線の新潟空港への直結。
- ジェトロ群馬の活用と海外販路の開拓。
- 県内各地の「空き家」の活用及び対策。

■文教警察部会■
- 信号機の設置や通学路の安全対策。
- 東国文化や伝統文化の周知と上毛かるたの活用。
- 特殊詐欺被害の撲滅

「議員立法」が急増しています。

平成24年の「群馬県議会基本条例」成立で議会改革への関心が高まり、議員及び委員会発議の条例が急増しました。自民党の県議会議員は定数の6割を占めていますが、その中で、行政施策をチェックする議会本来の役割はもとより、政策立案に積極的に取り組み、県民の望む施策を自らの手で具体化する力も強化しています。

◇　◇

■群馬県県営住宅管理条例の一部を改正する条例（平成19年6月21日）
■群馬県行政に係る基本計画の議決等に関する条例（平成20年3月19日）
■群馬県がん対策推進条例（平成22年12月16日）
■群馬県議会基本条例（平成24年3月19日）
■群馬県スポーツ振興条例（平成25年3月19日）
■群馬県歯科口腔保健の推進に関する条例（平成25年3月19日）
■群馬よいとこ観光振興条例（平成26年3月19日）
■群馬県交通安全条例（平成26年12月15日）
■群馬県手話言語条例（平成27年3月12日）
■ぐんまの家庭教育応援条例（平成28年3月22日）
■林業県ぐんま県産木材利用促進条例（平成30年12月17日）
■群馬県民の読書活動の推進に関する条例（平成31年3月12日）
■群馬県鳥獣被害対策の推進に関する条例（平成31年3月12日）

新時代が始まる。自民党の県議32名にお任せ下さい！

群馬県議会議員選挙が4月7日投開票され、新たな議員50人が決まりました。自民党は公認・推薦・党籍証明発行の32人が当選を果たし、令和の時代をリードする新たな陣容が固まりました。

県連5役を紹介します

幹事長	星名 建市
総務会長	岩上 憲司
政調会長	臂 泰雄
県議団長	岸 善一郎
筆頭副幹事長	大和 勲